

全経簿記1級 会計 第176回 第5問類題

問題

(株)富岡商事会社の第22期(平成25年10月1日～平成26年9月30日)末の〔資料1〕決算整理前残高試算表、〔資料2〕検討事項および〔資料3〕決算整理事項によって、次の間に答えなさい。(34点)

【問1】貸借対照表の資産の部を完成しなさい。

【問2】貸借対照表の負債の部に表示される賞与引当金と退職給付引当金の金額を求めなさい。

【問3】損益計算書を完成しなさい。

〔資料1〕決算整理前残高試算表

貸方科目	金額	貸方科目	金額
小口現金	900	買掛金	35,000
当座預金	42,000	仮受金	15,000
受取手形	10,000	借入金	7,000
売掛金	36,000	退職給付引当金	9,000
有価証券	10,000	貸倒引当金	90
繰越商品	12,000	建物減価償却累計額	17,500
仮払金	15,000	備品減価償却累計額	6,300
建物	35,000	資本金	55,000
備品	10,000	資本準備金	10,000
土地	30,000	利益準備金	6,000
商標権	2,080	別途積立金	15,000
仕入	160,000	繰越利益剰余金	6,770
給料・賞与	24,260	売上	220,000
広告宣伝費	4,000	受取配当金	785
旅費交通費	3,500		
水道光熱費	3,000		
保険料	1,500		
消耗品費	1,600		
雑費	2,500		
支払利息	105		
	403,445		403,445

〔資料2〕検討事項

1.小口現金は、用度係より月末に支払報告を受けて、月末に小切手振り出しにより資金を補給する定額資金前渡制によっている。ただし、当月末に用度係より次の支払の報告を受けていたが、その処理が未済である。

旅費交通費 300千円 消耗品費 150千円 雑費 250千円

2.仮払金の内訳は、次のとおりである。

(1)事務所増築(未完成)のために建設会社に支払った手付金 2,000千円

(2)退職した従業員に支払った退職一時金 1,000千円

(3)法人税等中間納付額 3,000千円

(4)仮払消費税 9,000千円

3.仮受金は全額、仮受消費税である。

なお、当社は、消費税の処理方法として税抜方式によっている。本日、課税計算期間末であるので、消費税の整理を行う。

4.仕入勘定残高は、仕入割引 2,000 千円控除後の金額である。

〔資料 3〕 決算整理事項

1.受取手形と売掛金期末残高に対して過去の貸倒実績率 1.5%の貸し倒れを差額補充法により見積もる。

2.有価証券は売買により利益を得る目的で保有し、その内訳は次のとおりである。

銘柄	保有株数	取得単価	期末単位時価
×株式会社	2,000 株	2.6 千円	2.4 千円
△株式会社	1,500 株	3.2 千円	3.4 千円

3.期末商品は、次のとおりである。なお、棚卸減耗費は売上原価に内訳科目で記載する。

種類	数量		単価	
	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	取得原価	正味売却価額
a 商品	2,800 個	2,650 個	2.5 千円	3 千円
b 商品	1,400 個	1,350 個	4.5 千円	5.5 千円

4 減価償却は、次のとおり行う（千円未満切上げ）。

建物 定額法 耐用年数 40 年 残存価額はゼロ

備品 定率法 耐用年数 6 年 残存価額は取得原価の 5%（定率 0.393）

5.商標権は、平成 24 年 6 月 1 日に取得したもので、有効年数 10 年で定額法により償却してきている。

6.借入金は全額、平成 25 年 12 月 1 日に、取引銀行から借入期間 5 年、利率年 3.0%、利息は借入日後 半年ごとに経過利息を支払う条件で借り入れたものである。

7.賞与引当金を支給対象期間にもとづいて見積計上する。なお、平成 26 年 12 月 15 日支給日の賞与の対象期間は平成 26 年 6 月 1 日から平成 26 年 11 月 30 日までであり、当該支給見積額は 3,240 千円である。

8.退職給付は内部積立方式によっているが、退職給付引当金の当期の繰入額は 1,500 千円である。

9.保険料のうち 1,260 千円は、平成 26 年 3 月 1 日から向う 5 年分の火災保険料である。

10.法人税等 5,900 千円を計上する。

答案用紙

【問 1】

(単位：千円)

資 産 の 部	金 額
流 動 資 産	
現 金 預 金	( )
受 取 手 形	10,000
売 掛 金	36,000
有 価 証 券	( )
商 品	( )
前 払 費 用	( )
貸 倒 引 当 金	△( )
流 動 資 産 合 計	( )
固 定 資 産	
有 形 固 定 資 産	
建 物	35,000
備 品	10,000
土 地	30,000
( )	( )
減 価 償 却 累 計 額	△( )
有 形 固 定 資 産 合 計	( )
無 形 固 定 資 産	
( )	( )
無 形 固 定 資 産 合 計	( )
投 資 そ の 他 の 資 産	
( )	( )
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	( )
固 定 資 産 合 計	( )
資 産 合 計	( )

【問 2】

(単位：千円)

賞 与 引 当 金	( )
退 職 給 付 引 当 金	( )

## 【問3】

## 損益計算書

(株)富岡商事会社 平成25年10月1日～平成26年9月30日 (単位：千円)

<b>売上高</b>		220,000	
<b>売上原価</b>			
期首商品棚卸高	12,000		
当期商品仕入高	( )		
合計	( )		
期末商品棚卸高	( )		
差引	( )		
棚卸減耗費	( )	( )	
売上総利益		( )	
<b>販売費及び一般管理費</b>			
給料・賞与	24,260		
退職給付費用	1,500		
賞与引当金繰入	( )		
貸倒引当金繰入	( )		
広告宣伝費	4,000		
( )	( )		
旅費交通費	( )		
水道光熱費	3,000		
減価償却費	( )		
保険料	( )		
消耗品費	( )		
雑費	( )	( )	
営業利益		( )	
<b>営業外収益</b>			
受取配当金	785		
( )	( )	( )	
<b>営業外費用</b>			
支払利息	( )		
( )	( )	( )	
税引前当期純利益		( )	
法人税等		5,900	
当期純利益		( )	

解答 ● @2点×17=34点

【問1】

(単位：千円)

資 産 の 部	金 額
流 動 資 産	
現 金 預 金	(● 42,200)
受 取 手 形	10,000
売 掛 金	36,000
有 価 証 券	( 9,900)
商 品	( 12,700)
前 払 費 用	(● 252)
貸 倒 引 当 金	△( 690)
流 動 資 産 合 計	( 110,362)
固 定 資 産	
有 形 固 定 資 産	
建 物	35,000
備 品	10,000
土 地	30,000
( 建 設 仮 勘 定 ) ●	( 2,000)
減 価 償 却 累 計 額	△(● 26,130)
有 形 固 定 資 産 合 計	( 50,870)
無 形 固 定 資 産	
( 商 標 権 ) ●	( 1,840)
無 形 固 定 資 産 合 計	( 1,840)
投 資 そ の 他 の 資 産	
( 長 期 前 払 費 用 ) ●	( 861)
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	( 861)
固 定 資 産 合 計	( 53,571)
資 産 合 計	( 163,933)

【問2】

(単位：千円)

賞 与 引 当 金	(● 2,160)
退 職 給 付 引 当 金	(● 9,500)

## 【問3】

## 損益計算書

(株)富岡商事会社 平成25年10月1日～平成26年9月30日 (単位：千円)

<b>売上高</b>		220,000	
<b>売上原価</b>			
期首商品棚卸高	12,000		
当期商品仕入高	( 162,000 )		
合計	( 174,000 )		
期末商品棚卸高	( ● 13,300 )		
差引	( 160,700 )		
棚卸減耗費	( ● 600 )	( 161,300 )	
売上総利益		( 58,700 )	
<b>販売費及び一般管理費</b>			
給料・賞与	24,260		
退職給付費用	1,500		
賞与引当金繰入	( 2,160 )		
貸倒引当金繰入	( ● 600 )		
広告宣伝費	4,000		
(商標権償却)	( ● 240 )		
旅費交通費	( 3,800 )		
水道光熱費	3,000		
減価償却費	( ● 2,330 )		
保険料	( ● 387 )		
消耗品費	( 1,750 )		
雑費	( 2,750 )	( 46,777 )	
営業利益		( 11,923 )	
<b>営業外収益</b>			
受取配当金	785		
(仕入割引)	( ● 2,000 )	( 2,785 )	
<b>営業外費用</b>			
支払利息	( ● 175 )		
(有価証券評価損)	( ● 100 )	( 275 )	
税引前当期純利益		( 14,433 )	
法人税等		5,900	
当期純利益		( 8,533 )	